

事業名 **小中学校学習サポート事業**

[0864]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実		
部名	教育部	事業開始年度	平成21年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内小中学校児童生徒
意図	児童にとって分かりやすい授業を行うことで、児童の勉学意欲が向上し確かな学力の定着を図る。
手段	市内小中学校にボランティア講師を派遣し、担当の教師と共に、チーム・ティーチングによる学習指導を行う

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	小中学校児童生徒数	人		10,674	10,319	9,977	
対象指標2							
活動指標1	ボランティアの登録人数	人		25	29	28	
活動指標2							
成果指標1	年間派遣人数	人		16	29	28	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	0	2,049	4,060	5,652	0
正職員人件費 (B)		千円	0	1,660	1,666	2,444	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	3,709	5,726	8,096	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)
 新たに市内中学校区に学校支援地域本部を設置し、コーディネーターが中心となって、学校とボランティアの連絡調整を行い、学校のニーズに応じてボランティアを派遣していきます。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			